



ハイライトよねやま 201

2016年12月12日発行
公益財団法人ロータリー米山記念奨学会

寄付金速報 — 年内のご送金はお早目に —

1月までの寄付金は前年同期と比べて2.9%減（普通寄付金2.7%増、特別寄付金5.5%減）、約2,040万円の減少となりました。依然、前年度比累計額は減少となっておりますが、11月のみの単月寄付額は2006年度以降11年間の中で最高額となりました。皆様からのご支援に心より御礼申し上げます。12月は例年、特別寄付金を最も多く納入いただいている月です。今年も残すところあと半月ほどとなりました。確定申告を予定されている方は**12月30日（金）までに着金**くださるようお願いいたします

全国学友会会長セミナー開催 — 地区を越えた連携へ —

国内の米山学友会会長を対象としたセミナーが11月26日、都内で開催され、全国33の学友会の代表者29人が参加しました。来賓の選考・学務委員の渡邊和良氏からの示唆に富んだごあいさつの後、奨学会からの実務説明があり、その後は、80分間のグループディスカッションが2回行われました。それぞれ「学友会の課題と解決策」と「これからの学友会」のテーマに沿って、各



学友会代表者が、運営上の課題・悩みやロータリアンとの連携、特色ある活動などについて事例を出し合い、活発な意見交換が行われました。午後からは、韓国学友会の全炳台会長もオブザーバーとしてディスカッションに参加し、懇親会では一人ずつ特技や趣味の話を披露して、盛り上がりを見せました。今回のセミナーを通じて、地区を越えた学友の輪が広がり、今後の情報共有・連携が進むことが期待されます。



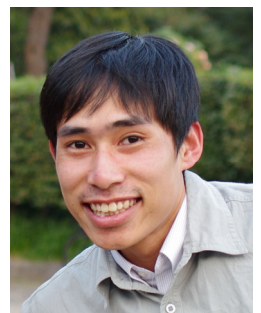
2017年の年賀状は現役奨学生がデザイン

米山記念奨学会事務局では、評議員・理事・地区米山奨学委員長・他団体など、毎年約500枚の年賀状を送っています。今回は、第2760地区の現役奨学生で名古屋工業大学大学院修士課程にて工学を専攻するゲンシンコンさん（ベトナム／あまRC）が、年賀状のデザインをしてくださいました。

シンコンさんからのメッセージ



米山奨学金の合格通知をいただき、他の奨学金を辞退してロータリー大家族の出会いを楽しみにしていました。そして素敵なお父さんに出会いました。年賀状では鶏の家族の暖かい愛情を表現し、ヒナの目とお父さんの目は幸せに見合っています。そして、お父さんとお母さんは子供を一緒に支えています。これは、僕の奨学生としての実感です。出会いは本当に奇跡であり、その奇跡の元は愛であることをロータリアンから学びました。今言えることは、米山奨学生になってよかったです。皆さんの暖かさに包まれ幸せです。



韓国米山学友会が総会を開催—日本人留学生支援も開始—

11月19日、ソウル市内のホテルで韓国米山学友会の定期総会が開催され、学友約70人のほか、当会の小沢一彦理事長や第3650地区の朴虎君ガバナーはじめ韓国ロータリー関係者、台湾米山学友会・関西米山学友会役員など、約90人が参席する盛会となりました。

総会の第一部では、全炳台韓国学友会会長のあいさつや来賓からの祝辞に続き、ソウル国際大会を含む一年間の活動報告、今後の事業計画の報告などが行われました。第二部では、韓国学友会が5月から支援を始めた在韓日本人留学生2人への



奨学金授与式が行われ、その後は和やかな懇親会で交流を深めました。参加者からは、「学友会を通じて、米山との絆が繋がってうれしい」「多くの人から支援を得て、学友会が発展していけると感じた」

「最近はや若い学友たちが積極的に参加し、学友会の雰囲気が活気に満ちている。今後帰国する学友も、ぜひ一緒に活躍してほしい」などの声が聞かれました。今後はさらに会員を増やし、役員が交代しても継続できるように組織のシステム化を図り、会員同士の連携・連帯を

強めていく方針を掲げています。(取材協力:韓国米山学友会広報委員会)



学友会が支援する日本人留学生もあいさつ

「奨学生体験発表会」と母国料理で感謝— 第2530地区 —



11月23日、第2530地区米山学友会が主催する「奨学生体験発表会」が郡山市内で開かれ、奨学生と学友20人のほか、当会常務理事の武田和夫氏、よねやま親善大使の金福漢さん、同地区佐久間英一ガバナーをはじめロータリアンら総勢約70人が出席しました。

奨学生は各自学びの成果や、故郷の紹介、将来の夢など思い思いのテーマで発表、ロータリアンは興味深そうに耳を傾けました。また、よねやま親善大使の金福漢さんは、自身が経営する福祉施設で

作ったさまざまな絹糸を見せながら、「同じ絹糸でも、製法によって見た目も手触りも全く違う。人間もこれと同じで、互いの国籍、肩書などでその人を判断することなく、実際に触れ合うことを大切にしてほしい」と、語りました。

この日は朝早くから、奨学生・学友のほか、チンタカ・クマール会長の教え子のみなさんが協力して母国の手料理を準備しており、作りたてのフォー（ベトナム）、水餃子（中国）、ホーショール（モンゴル）、キリバット（スリランカ）などがテーブルいっぱいになるまわれ、全員で舌鼓を打ちました。



申告用領収書は来年1月にお送りします

ロータリー米山記念奨学会へのご寄付は税制優遇を受けることができ、「税額控除」か「所得控除」いずれか有利な方式を選択できます。今年1～12月に寄付をした方には、来年1月末までに申告用領収書をクラブ経由でお送りします。12月30日（金）当会着金分までが対象です。

米山記念奨学会事務局は、12月28日（水）～1月5日（木）の間休業させていただきます。来年は1月6日（金）より通常業務となります。

